

印西建第93号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長様

印西市長 山崎 山洋



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました件につきまして、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

昨今の時代の流れでは総論(行政)賛成、各論(地元住民)反対のスタートだと計画が頓挫してしまう可能性があるので、行政の計画と住民の意向の両方を道路計画の面輪として、本当に必要な道路の整備については、早急に実施していくことが道路行政の重要な点となると思われる。

また、少子高齢化の時代の流れに対して高齢者及び子供が安全に通行できる自歩道整備の促進、将来的に増加する道路の維持修繕に対しての財政補助、技術職員の不足に対しては道路行政全般の手続きの簡素化を道路行政の重点的な課題と考える。

様式 ①

千葉県印西市

今後の道路行政についての意見・提案  
②－1 地域の現状と抱える課題

様式 ②  
千葉県印西市

○現状	○課題	○課題	○課題
・当市は、歩道が整備された新市街地(千葉ニュータウン地区)と、ほとんど歩道の整備がされていない旧市街地(既存地区)で形成されており、旧市街地の道路は、幅員が狭く歩道がないうえに、通学路にもなつておらず危険なため安全安心な交通環境の整備が必要である。	・通学路になつている道路は、県道も多く含まれており千葉県に対しては要望をしているがなかなか予算がつかず、整備されるめどはたっていない。	・北千葉道路が全線開通されればアクセスが向上すると思われるが、鎌ヶ谷から市川までの区間は未整備のため、外環道路まで接続されないと効果が期待できない。	・国道464号沿いの堀割部の道路整備をすれば解消されると思われるが、工事が実施されていない。
・当市は、常磐道、東関道、外環道、圏央道のほぼ中間にあり、首都40キロメートル圏内の中でも最も広い高速道路の空白地帯となつており、アクセスが悪く、一番近いICまで約40分かかる。	・国道464号沿いに集中する大型店舗への来客により、交通量が増大し休日は市内のいたるところで交通渋滞が発生している。		

## 今後の道路行政についての意見・提案

### ②－2 地域の目指すべき将来像

市内には、木下駅と小林駅を中心とした田園都市ゾーンと千葉ニュータウンを中心とした新都市ゾーンで構成される4つの鉄道の駅があり、それらの駅を有機的に連結する道路整備を推進し、それぞれが良好で特色のある街づくりを目指す。また、東京・成田方面とのアクセス向上のための東西の道路として、北千葉道路・国道464号の整備を促進し、それら骨格となる道路とのネットワークを考慮した市道等を整備し、千葉市と茨城県を結ぶ南北の幹線道路である県道千葉・竜ヶ崎線のバイパス工事を実施し、市の活性化を図ることとし、また千葉・柏道路については、早期実現に向けて関係市町村とともに要請するとともに、市域へ入り込む自動車を分散させる。

### 様式 ③

千葉県印西市